

「高千穂郷」通信

NO.192

平成31年1月号

(発行：宮崎県西臼杵支庁)

五ヶ瀬ハイランドスキー場 2019シーズンがOPEN



12月14日(金)に、日本最南端の五ヶ瀬ハイランドスキー場のオープニングセレモニーがありました。

オープンに先立ち、3日(金)には、安全祈願祭が行われ、今シーズンの安全な運営とスキー場の盛況が祈願されました。

14日のセレモニーでは、県の鎌原副知事や緒嶋県議会議員、原田町長らによるテープカットの後、スキーヤーやスノーボーダーが一斉に滑り出し、今シーズンの開幕が祝われました。

今年は、中学生から大学生までの学生を対象に、平日限定で「五ヶ瀬学割」の適用が始まりました。リフト券とボードセット(板・ブーツ)が通常より安価でレンタルできます。

また、場内のショップでは、イメージキャラクターの南ちゃんデザインされた特製の限定ワインの販売もあります。今年も、五ヶ瀬でスキーを楽しんでみてはいかがでしょうか。



厚生労働大臣表彰の伝達式がありました

長年にわたり、社会福祉やボランティア活動に取り組む個人や団体の功績をたたえる厚生労働大臣表彰の本年度伝達式が12月25日(火)に県庁でありました。

管内では、民生委員や主任児童委員を21年にわたり務められた、日之影町椎谷の飯干美和子さんが表彰を受けました。飯干さんは、一人でサロンへ参加できない方の集会場への送迎や、昼食を参加者と一緒にとって食べるなどの介護予防に取り組むなど、地域住民の福祉の向上に対する熱心な活動に取り組まれています。



西臼杵ブロック民生委員児童委員研修会

11月20日（火）に、日之影町町民センターで、西臼杵ブロック民生委員児童委員研修会が開催され、郡内から民生委員や主任児童委員をはじめとする関係者約100名が参加しました。

NPO法人国際ビフレンダーズ宮崎自殺防止センターの工藤相談員から、「自殺防止・自殺予防に繋がる取組について」と題して、相談相手の話に真摯に耳を傾げることの重要性や信頼関係を築くための接し方についてお話がありました。

また、門川町の民生委員児童委員の蓮本章子さんと認知症地域支援推進員の野村玲子さんから、「高齢者を地域で支える取組について」と題し、地域全体で高齢者を支える活動を行っていくことの重要性についてお話をいただき、充実した研修会となりました。



高千穂高校の農場祭がありました

12月15日（土）に、高千穂高校の宮尾野農場で農場祭が開催されました。

今年で38回目を迎える農場祭では、生産流通科の生徒が真心を込めて栽培した野菜や花鉢、お米や安信茶の販売を行いました。また、PTAの方々の協力を得ながらカレーや豚汁、焼き鳥や椎茸の磯辺揚げを振る舞い、多くの町民の方々に好評のうちに農場祭を終えることができました。

また、今回の農場祭は生産流通科の生徒が「生産」から「流通・販売」までを担う実践の場にもなりました。高千穂高校では、生徒たちの高校生活を充実したものにするとともに、生徒自身が地域の活性化に関わるための様々な取組を行っています。【高千穂高校】



第2回西臼杵観光推進連絡協議会

12月5日（水）に、西臼杵農業改良普及センターで、第2回西臼杵観光推進連絡協議会（事務局：西臼杵支庁）が行われました。

当日は、平成31年度に新たに県が策定する観光振興計画の骨子や、地域で策定を検討する「西臼杵観光推進ビジョン」についての骨子案の内容について議事が行われました。

また、平成30年度の取組として、福岡などの都市圏におけるPRイベント等の実績報告が行われ、引き続き、3町が連携した観光PR等に取り組んでいくことが確認されました。



神代川の現地説明会を行いました

12月16日（日）に、神代川第4回施工見学会を開催しました。当日はあいにくの雨で、とても冷え込む天候でしたが、無事に開催することができました。見学会には、推進協議会の委員を含む9名の方に御参加いただき、「工事の内容や進捗状況の説明」、「植栽と散策路に関するワークショップ」を実施しました。



特に、ワークショップでは、参加者の皆さんの思いが飛び交い、議論が白熱しとても盛り上がりました。いただいた意見を上手く取り入れながら、今後も工事を進めていく予定です。



今後、2月下旬頃に第5回施工見学会を実施する予定です。引き続き、神代川が住民の方々にとって誇れる川になるよう整備を行い、工事の進捗に合わせて各種イベントを仕掛けていきたいと考えていますので、是非とも御参加ください。

西臼杵地区SAP冬季大会

12月7日（金）に、西臼杵支庁で「平成30年度西臼杵地区SAP冬期大会」が開催されました。

大会では、地域の活動事例や今後の目標等についての意見発表や、課題の解決に向けた取組の成果などが発表されました。高千穂町SAP会議の馬崎太志さんが発表した「過去から未来・父から私へ繋がる農業」と、高千穂町SAP会議の佐藤美彰さんが発表した「家族経営で目指す山間地型複合経営」についての発表が最優秀賞を受賞しました。



最優秀賞者の2名については、1月30日（水）に開催される宮崎県SAP会議で西臼杵代表として発表されることになっています。お二人の御活躍を期待しています。

こんにゃく豆腐づくり体験を行いました

12月7日（金）に、みやざきの食と農を考える県民会議西臼杵支部が主催し、高千穂町保健福祉総合センターげんき荘で「こんにゃく・豆腐作り教室」を開催しました。食育ティーチャーの独自の製法でこんにゃくや豆腐を作り、それらを材料にして、豚汁や酢味噌和えの調理を行いました。



かつては、特別な日に各家庭でこんにゃくや豆腐が作られていたそうです。高千穂町内の参加者15名は昔ながらの味わいに舌鼓を打ちながら、郷土の文化に思いを馳せていました。

管内3町で消防出初め式がありました

1月5日（土）に、西臼杵郡内の3町で消防出初め式がありました。高千穂町では分列行進があり、高千穂町総合公園競技場で観閲や通常点検、発水試験などが行われました。

また、勤続年数の長い団員が表彰を受けたほか、団員を支えた家族などに感謝状が贈られました。



高千穂町



日之影町



五ヶ瀬町

世界農業遺産ユネスコエコパーク 合同シンポジウムが行われました

12月15日（土）に、高千穂町で、世界農業遺産とユネスコエコパークの合同シンポジウムが行われました。

基調講演として、宮崎大学の西脇教授から、認定地域に世界が期待することは何かについて講演があり、農林業システムによる伝統文化の承継が維持されている点が、大変ユニークであり、地域の活性化に生かしていく必要があるとの話がありました。

研究発表として、高千穂高校のGIAHSアカデミー生から、これまでの活動で学んだことや、今後この地域をどうしていきたいかについて発表があり、世界農業遺産とエコパークの価値について、再認識する貴重な時間となりました。



県庁前で日之影町のゆずまつりがありました

12月20日（木）と21日（金）の2日間、県庁前の楠並木通りで、日之影町の柚子まつりが開催されました。


当日は、日之影町の特産品であるゆずのほか、町内で採れた新鮮な野菜やジビエのお肉、栗きんとんや釜炒り茶など日之影町を代表する美味しい食材が集まりました。

また、数量限定でシシ肉丼のふるまいも行われ、多くの来場者が集まる人気のブースとなっていました。会場を訪れた人たちは、日之影町の冬の味覚を買い求めていました。



◎お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課 TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760

Facebookページ  「ウキウキ！好き好き！ニシウスキ！」更新中！

記事として紹介できるイベントや取組等がありましたら、上記まで御連絡ください！

